34. ペトロとマグダ ラのマリアはどのよ うな関係にあったの でしょう?

イエスの墓を覆っていた石が 動かされているのを見主にそれているのを見主にといる口と、 をシモン・ペトロと、 された弟子に伝えるたは福音 けだしました。 これは福音 がペトロとマリアの関係に いて語った全てです。

2016/09/28

聖ヨハネの福音書は次のように語っ ています。土曜日の次の日にマグダ ラのマリアはイエスの墓に向かい、 そして墓を覆っていた石が動かされ ているのを見てそれをシモン・ペト 口と、主に愛された弟子に伝えるた めに走りだしました。その知らせを 聞いて二人は墓に向かって駆け出し ました、その墓では後ほど戻ったマ リアが復活したイエスに会います (ヨハネ20,1-18)。これは福音書が ペトロとマリアの関係について語っ た全てです。歴史的な視点からはこ れ以上付け加えることはありませ ん。「ペトロの福音書」は、多分西 暦 2 世紀に書かれた偽福音書で正典 ではありませんが、受難の最後の場 面やよみがえったイエスの復活や出 現について語り、マリアを「主の弟 子|としています。

グノーシス派の人々を源とする 2次 的な文献ではペトロとマリアの対立 に関係するいくつかの記述がありま す。前提として、その文献は歴史的 な根拠はなくグノーシス派の教義を 伝えるための手段として種々の人物 の間の虚構の対話という手段に頼っ ていることをまず念頭に置いて頂き たいです。「マリアの福音書」はこ のような文献の一つで、そこにおい てマリアが受けた秘密の啓示に対す るペトロの無理解について述べられ ています(参照「マグダラのマリアの 福音書は何を語っているか?」)。 もっと古いと思われる他の記述は 「トマスによる偽福音書」です。こ こでは、シモン・ペトロの話したこ とが最後に語られています:「マリ アを我々から遠ざけろ、女は生きる に値しないのだからし。それに対し イエスは答えています」「見よ、私 は彼女を男に変えて見せよう、同時 に生きる聖霊に変えて見せよう、こ うすればあなたたち男と同じにな る。このように全ての女は男になり 天の王国に入ることになろうし。ま た「ピスティス・ソフィア」(グ

ノーシス派の重要文献)によると、 ペトロは我慢できなくなり、何故マ リアはみんなよりグノーシス派の意 味での奥義を理解しイエスにより称 賛されるのかとの抗議をしました。 「主よ、あの女に話をすることを許可 しないでください、なぜなら我々の 地位を奪い我々に話をさせなくなる からです (54b)。(しかしながら、こ こではマルタと一緒に居るのは、マ グダラのマリアではなく、マルタと ラザロの姉妹のマリアである可能性 があります。ただし二人のマリアを 同一人物と考える、可能性もありま す)。これらの文献の中では、ラビの 考え方の受け継いできた性格がわか りますが、それによると女性は宗教 上の教義(ヨハネ4,27参照)を理解 できません。同時にグノーシス派の 固有の人間観が現われており、これ によると女性たちは「秘教の秘儀」の 啓示の伝達手段として卓越した場を 占めています。

ペトロとマグダラのマリアの関係 は、ペトロとヨハネ、ペトロとパロ ロ、ペトロとサロメ等の関係と同じ ものであったに違いありません。す なわち、それは教会の前面にいた者 とイエスの弟子でその復活後生き返 りの証人となり福音書を宣べ伝えた 者との関係です。その他の関係は想 像上のものです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-34/(2025/12/13)